

必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃 (75,000円) 上記は2025年1月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ◆渡航手続き費用 (パスポートを新規取得、更新の方): パスポート新規申請代 (5年用11,000円 / 10年用16,000円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要) このご旅行には2025年9月6日以降のパスポート有効期限が必要です。(+2週間以上の有効期限が望ましい)
- ◆お一人部屋追加料金: 76,000円 (ホテルは基本2名一室です)
- ※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用 (食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等)
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2025年1月14日現在を基準としています。

■旅行契約の解除
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の23日前迄にお知らせします。
<取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

<解除時期・取消料>

契約の解除期日	
旅行開始後日の前日から起算して遡って30日目以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

ご旅行要項

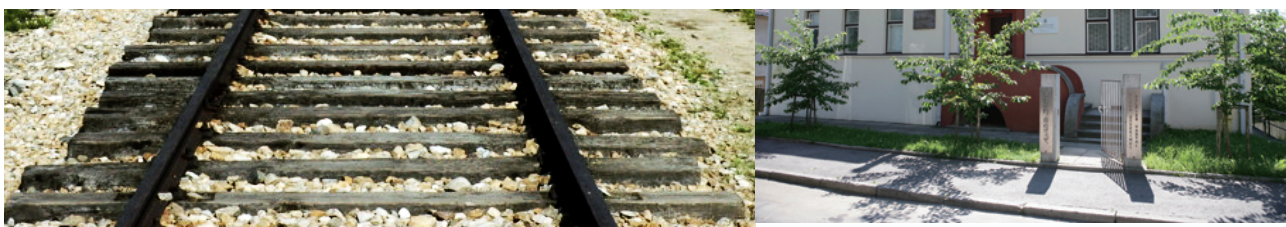
■旅行代金に含まれるもの
①企画手配料金および手配料金 ②交通費: 旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金、列車料金 ③宿泊費: 下記ホテル又は同等クラスのホテル(弊社基準)の基本宿泊料および税、サービスタク ④ピリニウス=RadissonまたはBestwestern、ワルシャワ=Metropol、クラクフ=Easy Vienna House (基本2名一室) ④食事代: 旅程表明示 ⑤見学施設の入場料
⑥現地協力者の謝礼・同行費用 ⑦講師謝礼・同行費用
⑧添乗員1名同行費用 ⑨視察費用

■旅行代金に含まれないもの
①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
④個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等
⑤航空会社が課す日本港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃(75,000円)2025年1月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
⑥お一人部屋料金: 76,000円
⑦日本国内の交通費、前泊の費用
⑧海外旅行傷害保険料 ⑨オプションツアー代



伊藤千尋さんと行く旅シリーズ

リトアニア・ポーランドの旅



旅行期間 **2025年 5月28日(水)~6月6日(金) 10日間**

旅行代金 **595,000円**

※費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・空港施設使用料・保安料が別途75,000円かかります。発券時のレートにより変動いたします。差額は返金・又は集金させていただきます。

定員 **25名様** (最低実施人員15名) 添乗員 **成田空港から同行します**

申込締切 **2025年 3月25日(火)**

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7 ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理

株式会社 **富士国際旅行社**

TEL: **045-212-2101** FAX: **045-212-2201**
Mail: henshu@fits-tyo.com 担当: 西須・山田・金光

営業時間: 月~金曜日 / AM10:00~PM6:00 (休業日: 土日・祝日)
ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>

お申込方法

- ①【紙で仮予約の場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
- ②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
- ③弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円**(旅行代金内金)をご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)
- ④ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。 ⑤出発2週間前に旅行説明会を行います。

株式会社 富士国際旅行社 宛

参加予約票 **戦後80年企画 伊藤千尋さんと行くリトアニア・ポーランドの旅 2025年5月28日(水)発**

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日生 ()才	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名	男・女	パスポート	有効旅券(パスポート)【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 -)			
連絡先	【tel】() - 【fax】() - 【携帯】 - 【e-mail】			



伊藤 千尋 さん
いとう ちひろ

国際ジャーナリスト

1949年山口県生まれ。東京大学法学部卒業。大学時代の71年にキューバで砂糖キビ刈り国際ボランティアに参加。73年、東大「ジブシー」調査探検隊長として東欧を旅する。74年、朝日新聞に入社。サンパウロ支局長、バルセロナ支局長、ロサンゼルス支局長などを歴任、40年にわたり主に国際報道の分野で取材を続けた。2014年に朝日新聞退職後も、フリーのジャーナリストとして各国の取材を続け、精力的に執筆と講演を行っている。「コスタリカ平和の会」共同代表。「九条の会」世話人。東京都狛江市在住。主著に『凜とした小国』『9条を活かす日本 15%が社会を変える』『連帯の時代』など。



旅のポイント

- 「命のビザ」を発給し多くのユダヤ人を救った杉原千叡の記念館を見学
- アウシュビッツを訪れ、ホロコーストの負の歴史を学びます
- ウクライナから避難している方のお話を聞き、現在の問題を学びます

※写真は全てイメージです

旅行企画・実施

Peace Green Humanity
(株)富士国際旅行社

〒231-0062
神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4

日程表

	都 市	交通機関	行程・宿泊地・食事（朝・昼・夕）
① 5/28 (水)	成 田 空 港 集 合 成 田 発	航 空 便	成田空港集合（集合予定時刻：20時30分） 空路、ワルシャワへ 機 中 泊 B× L× D機
② 5/29 (木)	ワルシャワ着 / 発 ビリニュス着	航 空 便 専 用 車	乗継、リトアニアのビリニュスへ 日本語ガイドと合流、専用車で市内へ 昼食後、市内見学 午後：ヴィリニュス市内見学 ◎旧市街（旧市庁舎） ●聖ペテロ&パウロ教会 ◎スギハラ通り、杉原桜公園 ◎大聖堂（人間の鎖の起点も見学） ●リトアニアKGB博物館 チェックイン後、ホテルにて休憩 ◆夕食は希望者は添乗員がご案内 ビリニュス泊 B機 LO DX
③ 5/30 (金)	ビリニュス発 カウナス着 カウナス発 ビリニュス着	専 用 車	陸路、カウナスへ ＜「日本のシンドラー」杉原千畝ゆかりの地めぐり＞ ●杉原千畝記念館 ◎杉原氏ゆかりのカウナス駅、メトロポリスホテル ●第九要塞博物館の見学・ナチス強制収容所跡 ・資料館（遺品や写真の展示） ・スギハラ展示室（「命のビザ」の記録） ◆参加者夕食交流会 ビリニュス泊 BO LO DO
④ 5/31 (土)	ホ テ ル 発 空 港 着 / 発 ワ ル シ ャ ワ 着 ホ テ ル 着	専 用 車 航 空 便	午前：自由行動 昼頃、再集合、専用車で空港へ移動 ワルシャワ到着後、ガイドと合流 専用車で市内へ ＜ワルシャワ市内見学＞ ◎旧市街 ◎ゲッター英雄の碑 ◎ワルシャワ蜂起記念碑 ワルシャワ泊 BO L× DO
⑤ 6/1 (日)	ワ ル シ ャ ワ	専 用 車	終日：ワルシャワ見学 ●ワルシャワ蜂起記念館 ●ワルシャワ動物園（ユダヤ人を救った動物園） *ウクライナから避難した人々または支援団体と交流 ワルシャワ泊 BO LO DO
⑥ 6/2 (月)	ワ ル シ ャ ワ 発 ク ラ ク フ 着	列 車	陸路、列車でクラクフへ（所要約2時間） 午後：クラクフ市内見学 ◎バルバカン ◎中央広場 ●聖マリア教会 ●バベル城 クラクフ泊 BO L× DO
⑦ 6/3 (火)	ク ラ ク フ 発 オ ヲ フ ィ エ ン チ ム 着 オ ヲ フ ィ エ ン チ ム 発 ク ラ ク フ 着	専 用 車	専用車でオシフィエンチムへ 午前：アウシュビッツ強制収容所跡見学 午後：ビルケナウ強制収容所 ◆夕食は民族音楽を聴きながらディナー クラクフ泊 BO LO DO
⑧ 6/4 (水)	ク ラ ク フ ク ラ ク フ 発 ワ ル シ ャ ワ 着	列 車	午前：クラクフ市内見学 ◎カジミエシュ・ユダヤ人街 ◎プワシュフ強制収容所跡 ◎ゲッターの壁 ●シンドラー博物館 昼頃の列車にて、ワルシャワへ（昼食は各自購入・列車の中で） 夕方、ワルシャワ到着 ワルシャワ泊 BO L× DO
⑨ 6/5 (木)	ワ ル シ ャ ワ 再 集 合 ホ テ ル 発 空 港 着 ワ ル シ ャ ワ 発	専 用 車 航 空 便	17時30分まで自由行動（オプションツアー：後日ご案内予定） 専用車で、夕食場所へ 夕食後、空港へ移動 空路、直行便で帰国の途へ 機 中 泊 BO L× DO
⑩ 6/6 (金)	成 田 空 港 着		成田空港着後、解散（到着予定時刻：18時40分） B機

●現地の都合により、訪問順序・日時が入れ替わる場合がございます。
【旅程表のマーク】：B=朝食、L=昼食、D=夕食、機=機内食
OP=オプション・ツアー、●=入場して見学、◎=外観を見学
【利用予定航空会社】：ポーランド航空

5月の気温

リトアニア				ポーランド			
最高	20℃	最低	9℃	最高	21℃	最低	10℃

Lithuania



リトアニア基本情報

- 正式名称：リトアニア共和国
Republic of Lithuania
- 首都：ビリニュス
- 人口：約287万人(2023年)
- 面積：6.5万平方キロメートル(北海道の約80%)
- 言語：リトアニア語 ■通貨：ユーロ
- 時差：日本より7時間遅れ
- 気候：四季はありますが、春と秋は短く、冬が比較的長い気候です。季節の変わり方が急激で、5月に入るといきなり夏のように暑くなったり、9月になったとたん急に寒くなるといったこともあります。夜は冷えるので何か羽織るものが必要です。また天候が変わりやすいので、常に雨具を持ち歩きましょう。



ビリニュス大聖堂



ビリニュス旧市街

Poland



ポーランド基本情報

- 正式名称：ポーランド共和国
Republic of Poland
- 首都：ワルシャワ
- 人口：約3,768万人(2023年)
- 面積：約32.3万km²
- 言語：ポーランド語
- 通貨：ズウォティ(PLN/Polish Zlotych)
- 時差：日本より7時間遅れ
- 気候：大陸性気候で、はっきりした四季があります。春の訪れは5月半ば～5月後半で、6月は春～初夏の気温になり、過ごしやすい気候です。ただ朝晩は冷えますので、長袖の上着は必要です。



クラクフ：織物会館



ワルシャワ：旧王宮広場

● ビリニュス

1316年、ゲディミナス大公の命により、リトアニア南東部に位置するネリス川沿いに新都が築られました。ビリニュスは、バルト3国の中でも唯一海に面していない首都ですが、これは数世紀に渡り国境が幾度も変わったことと深くかかわっています。タリンやリガのようなハンザ同盟風の雰囲気を感じさせないこのビリニュスは、旧市街としてはヨーロッパ最大を誇り、迷路のように入り組んだ町にはゴシック、ルネッサンス、そしてバロック様式の建造物が多く残されています。また、「夜明けの門」は数少ない現存する城門の一つです。ビリニュスの旧市街は「歴史地区」として、1994年に世界ユネスコ文化遺産に登録されています。

● 杉原千畝

「東洋のシンドラー」とも呼ばれる外交官です。彼は、第二次世界大戦中の昭和14年(1939年)、リトアニアの在カウナス日本領事館領事代理に任命されました。ナチス・ドイツによって迫害されていた多くのユダヤ人に対し、外務省からの訓令に反して独自の判断でビザを発給し、およそ6,000人にのぼる避難民を救ったことで知られています。戦後、日本人として唯一イスラエルから「諸国民の中の正義の人」として表彰されています。カウナスの元日本領事館を記念館として一般公開しており、実際の発給したビザなども見学できます



杉原桜公園にある記念碑

● KGB博物館

KGBとは1954年からソ連崩壊(1991年)まで存在した旧ソ連の秘密警察(秘密諜報機関 NKVD、後にKGB)のこと。リトアニアの首都ビリニュスにあるKGB博物館は、KGBが実際に1940年から1991年の50年間、総本部・収容所として使っていた建物を利用しています。当時の拷問や虐殺、銃殺が行われた部屋や道具などが保存されていて、一般公開されています。

● ワルシャワ

第二次世界大戦による破壊から不死鳥のごとく蘇った緑豊かなポーランドの首都。中世の街並みを感じさせる佇まいを残す旧市街地区、そして至るところにある戦争被害者の碑にこの国の歴史の重みと市民たちの心を感じます。シヨバンやキュリー夫人ゆかりの地として有名です。

● クラクフ

「ポーランドの京都」と呼ばれる美しい古都。ポーランド第二の都市であり、第二次大戦の戦火を免れた中世そのままの姿を残す城壁に囲まれた街です。旧市街はユネスコ世界文化遺産に指定され、コペルニクスが学んだヨーロッパ最古のヤグューオ大学に象徴されるように学問の都でもあります。

● アウシュビッツ強制収容所

1940年クラクフの西60kmのオシフィエンチムに築かれたナチスの絶滅収容所。ソ連軍によって解放されるまで、ユダヤ人をはじめ約110万人以上の人々が虐殺されました。現在は博物館として復元され、ドキュメント映画や入口の門「ARBEIT MACHT FREI(働けば自由になる)」、没収された収容者のカバンや靴、髪の毛など様々なもの展示がされている「収容棟」、ガス室、焼却炉などが見学することができます。



● ビルケナウ収容所

アウシュビッツの第2収容所として建設されました。アウシュビッツから2km程離れており、広大な敷地を占めています。アウシュビッツ強制収容所の約10倍の1.75平方kmの面積に、300棟以上のバラックが並び、さらに大規模な一大殺戮工場でした。収容者が運ばれてきた列車の引込み線が、まっすぐに敷地内へ伸び、線路が行きつく先には破壊されたガス室と焼却炉の跡が残っています。

